

基本事業コード	07030001	担当課所名	観光課
基本事業名	観光イベント開催事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	4	にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」
	政策	1	人が集まる観光づくり
	施策	2	観光誘客の推進
			総合振興計画 106 ページ

基本事業の概要	各種観光イベントを開催し、観光客の誘客を促進する。
---------	---------------------------

対象	各イベント開催実行委員会 市民、観光客
意図 (対象をどのようにしたいか)	各種観光イベントを開催し、秩父の魅力を理解してもらう。また観光客の誘客及び地域の活性化を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
イベント開催事業観光客数		人	724,430	1,079,300	760,932	1,080,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	★ 芝桜まつり開催事業	指標 芝桜の入込観光客数	800,000			人	B	
		3,600,000	4,000,000	4,000,000	521,703		維持 拡充	
02	秩父いってんベエウォーク開催事業	指標 秩父いってんベエウォーク参加者	1,000			人	B	
		0	95,000	95,000	887		維持 拡充	
03	秩父サイクルトレイン開催事業	指標 サイクルトレイン参加者	300			人	B	
		290,000	290,000	290,000	186		維持 拡充	
04	秩父アニメツーリズム開催事業	指標 アニメツーリズム事業参加者	100,000			人	C	◎
		100,000	1,000,000	1,500,000	60,000		拡大 拡充	
05	★ 吉田よいとこまつり開催事業	指標 吉田よいとこまつり入込観光客数	5,000			人	B	
		3,283,000	3,283,000	3,283,000	8,300		維持 拡充	
06	★ 奥秩父大滝紅葉まつり開催事業	指標 メインイベント入込観光客数	3,000			人	B	
		2,800,000	2,800,000	2,800,000	1,900		維持 拡充	
07	★ 氷まつり開催事業	指標 氷柱・氷壁入込観光客数	65,000			人	B	
		100,000	600,000	200,000	57,456		縮小 維持	
08	★ 荒川しだれ桜まつり対策本部事業	指標 荒川地区しだれ桜入込観光客数	80,000			人	B	
		593,351	1,600,000	1,600,000	75,000		維持 拡充	
09	ライトアップ事業	指標 花ハスライトアップ入込観光客数	5,000			人	C	○
		250,000	250,000	550,000	12,000		拡大 拡充	
10	★ そばの花見まつり開催事業	指標 そばの花見まつり入込観光客数(春・秋)	10,000			人	C	
		317,717	518,903	563,000	10500		縮小 縮小	
11	★ 新そばまつり開催事業	指標 新そばまつり入込観光客数	10,000			人	B	
		2,000,000	2,000,000	2,000,000	13000		維持 拡充	
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 14,809,000 16,481,000

事業費の合計(円) (A) 13,334,068 16,436,903 16,881,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	13,334,068	16,436,903	16,881,000

正規職員	業務量	1.40人	2.00人
	人件費(B)	8,319,158	1,241,002
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 21,653,226 17,677,905

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	基本事業を構成する事務事業は、イベントを開催することにより誘客を図ることを目的としており、基本事業指標と目標値は、過去の実績値等により設定しているため妥当である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 屋外のイベントのため天候の影響を受けることも多いが、観光客に本市の魅力を理解してもらえよう、さらに要望を踏まえながら今後も継続して各事務事業を行う。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ どのイベントも実行委員会あるいは対策本部を組織して関係機関と協働で取り組んでいる。このことは、行政の役割に対して団体参加を促進させ、かつ、公益活動を促進させることにもつながるとともに、さらには観光客等のニーズに的確に対応したサービスの向上などの効果が見込まれることから妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 新たな誘客を図ることが難しい状況で、アニメ「あの花」の放送により全国より新たな若い世代の誘客を図ることが出来、現在その勢いは継続している。また、インバウンドとして海外からの誘客展開も今後は見込めるため、アニメツーリズムの取り組みは更なる必要性が強くなっている。また、今後は事業を継続することでアニメの聖地として確立し、数年に渡る長期の誘客を図れるよう活動する予定である。 荒川地区における清雲寺及びホテルまつりのライトアップについては、観光客からの実施への要望が非常に多い。そこで、実施に向けた検討・協議を行い、協議が整えば25年度から実施する。</p>	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>イベント参加者に秩父の魅力を適切に発信し、リピーターとなるよう、市民とも協働して事業展開する。</p> <p>誘客推進をはじめ、秩父の魅力を満喫し、再び足を運んでいただけるリピーターとなるように、観光関係者や市民団体と協働して事業を展開していく。</p> <p>各総合支所との連携を密にして地域イベントを広く発信し、日程が重ならないよう配慮した。</p>
短期的(1～2年以内)に実施可能な改善提案	<p>秩父ってんべえウォーキングの本格的な2DAY化を構築していく。</p> <p>秩父ってんべえウォーキングについては、ウォーキングファンに定着してきているが更に発展できるよう、開催日数などを研究していく。</p> <p>埼玉ウォーキング協会の協力を得て、2DAYとして開催した。</p>
中長期的(概ね3～5年)に実施可能な改善提案	<p>秩父ってんべえウォーキング2DAYについては、埼玉県を代表とするイベント(参加者負担)に育てていく。</p> <p>清雲寺のしだれ桜も老木となり、手入れについて、清雲寺と保存会だけではなく、今後は市も考えていく必要がある。</p> <p>清雲寺の手入れについて、協議を進めていく。</p>
<p>改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 埼玉県ウォーキング協会などの力添えにより、東松山、飯能、川口、さいたまなどに並ぶ埼玉でもトップレベルのウォーキングとなり、秩父の自然景観、魅力を広く内外に伝えられる住民の健康づくりにも役立つイベントとする。</p>	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	鈴木 日出男	電話番号 0494-25-5209
----------------------	--------	----------------------

基本事業コード	07030002	担当課所名	観光課
基本事業名	まつり開催事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	4	にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」
	政策	1	人が集まる観光づくり
	施策	2	観光誘客の推進
総合振興計画 106 ページ			

基本事業の概要	来場者に各まつりを安心・安全に実施できるよう、各まつりの対策協議会・本部や実行委員会に必要な支援を行い、諸事業・諸対策を実施する。
---------	---

対象	まつり来場者
意図 (対象をどのようにしたいか)	まつりを安全かつ良好な観覧環境を保持する。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
まつり入込観光客数		人	466,300	470,000	491,000	470,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト・成果	重点化					
		事業費(円)			目標値(上段)								
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)								
01	夏祭り対策事業補助金	指標	秩父川瀬祭入込観光客数	100,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	95,000	人	A	維持	維持	
02	夏祭り観光祭事業委託	指標	秩父川瀬祭宵宮入込観光客数	45,000	2,820,000	2,820,000	2,820,000	40,000	人	A	維持	維持	
03	秩父まつり対策本部補助金	指標	秩父夜祭入込観光客数	275,000	17,560,000	18,560,000	18,560,000	286,000	人	B	維持	拡充	◎
04	秩父夜祭観光祭事業委託	指標	秩父夜祭大祭入込観光客数	171,700	6,580,000	6,580,000	6,580,000	183,000	人	B	維持	拡充	○
05	秩父夜祭交通規制等対策事業	指標	駐車場内事故件数	0	756,969	505,998	900,000	0	件	B	維持	拡充	○
06	★ 龍勢祭開催事業	指標	龍勢祭入込観光客数	100,000	6,672,158	6,666,578	6,680,000	110,000	人	A	維持	維持	
07		指標											
08		指標											
09		指標											
10		指標											
11		指標											
12		指標											
13		指標											
14		指標											

(参考) 最終予算額(円)		36,041,000	37,041,000
事業費の合計(円) (A)		35,889,127	36,632,576
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
正社員	業務量	1.40人	2.00人
	人件費(B)	8,319,158	8,428,701
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		44,208,285	45,061,277

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	秩父を代表とするまつりを多くの方にお越しいただけるよう、各まつりの対策協議会や実行委員会へ支援を行い、諸事業・諸対策を行うため、妥当である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 各まつりとも秩父を代表とするまつりであるため、諸事業・事故防止対策を通して、安心・安全に実施するため、妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 各まつりの対策協議会や実行委員会へ必要な支援を行うことにより、歴史・伝統のあるまつりを各団体が主体となり、諸事業・諸対策を実施することができ、秩父を代表するまつりが開催できることから妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 秩父の魅力を発信していく機会として、秩父を代表する秩父夜祭を活用することは効果的である。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案	まつり開催事業は毎年実施されているため、前例踏襲しているものも多いことから、関係機関と協議を続け、まつり参加者や観光客の安全や利便性の向上を図る。	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 毎年、祭の実施内容、事業主体、安全管理等について、各関係団体と協議を行っている。引き続き、安全管理等について、協議を行っていくことで、常に最新の情報を取り込み、安全対策や集客につなげることができる。 関係機関である、警察との協議の中で暴力団排除について、実施し、安全なお祭りを実施することができた。
短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案	今後も車で来るお客様も増えると予想されることから、特に一番入込観光客数の多く、重点項目としている「秩父夜祭」開催に向け、引き続き駐車場の確保について検討を重ねていく。また、公共交通の利用促進を強化していく。	交通対策として駐車場の確保については検討していきたい。秩父市へ訪れるお客様については、お車で来られる方も多くいるという現状に対して立地条件的に駐車場として確保できる部分が少ないため、今後駐車場として新たな場所を確保することで、集客数を増やすことにつながる。検討をしたが、昨年と同様の駐車場を実施した。
中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	鈴木 日出男	電話番号 0494-25-5209
----------------------	--------	----------------------

基本事業コード	07030003	担当課所名	観光課
基本事業名	観光施設維持管理事業		
総合振興計画	基本柱(章)	4	にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」
	政策	1	人が集まる観光づくり
	施策	2	観光誘客の推進
			総合振興計画 106 ページ

基本事業の概要	観光客や地域住民に観光施設を安全・快適に利用できるよう、施設の維持管理、必要に応じて修理補修を行う。
---------	--

対象	各観光施設を訪れる観光客・地域住民
意図 (対象をどのようにしたいか)	必要な維持管理を行い、利用者が安全・快適に利用できる環境を保持する

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
所管観光施設利用者数		千人	1,111.9	920.	986.	920.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	観光施設管理事業(本庁)	指標	各観光施設(道の駅ちぶなど)利用者数	600,000.		人	C	○
		32,155,969	32,936,148	57,915,000	716,988.		拡大 拡充	
02	観光施設管理事業(吉田)	指標	各観光施設(吉田元氣村・龍勢会館)利用者数	50,000.		人	C	維持 拡充
		97,607	1,608,397	603,000	12,808.			
03	観光施設管理事業(大滝)	指標	各観光施設利用者数	85,000.		人	C	拡大 拡充
		25,648,190	28,304,291	31,599,000	84,379.			
04	観光施設管理事業(荒川)	指標	各観光施設(道の駅あらかわ)利用者数	180,000.		人	C	維持 拡充
		4,907,424	6,382,952	5,562,000	164,214.			
05	ネイチャーランド用務業務事業	指標	ネイチャーランド浦山入込観光客数	5,000.		人	A	維持 維持
		1,558,308	2,182,890	2,293,000	7,478.			
06	観光施設清掃事業(本庁)	指標	清掃箇所	15.		箇所	A	維持 維持
		938,356	903,898	953,000	15.			
07	観光施設清掃事業(吉田)	指標	清掃箇所	4.		箇所	A	維持 維持
		1,849,193	1,845,181	1,857,000	4.			
08	観光施設清掃事業(大滝)	指標	清掃課所	3.		箇所	A	維持 維持
		1,308,590	1,131,148	1,357,000	3.			
09	観光施設清掃事業(荒川)	指標	清掃課所	3.		箇所	B	縮小 維持
		785,231	675,328	1,049,000	3.			
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 70,999,000 81,705,000

事業費の合計(円) (A) 69,248,868 75,970,233 103,188,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	69,248,868	75,970,233	103,188,000

正規職員	業務量	1.20人	1.20人
	人件費(B)	7,130,707	7,224,601
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 76,379,575 83,194,834

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	観光客はもとより地域住民にも気持ちよく施設を利用していただけるよう各施設の維持管理を行っている。また、たくさんの方々に訪れてもらうよう各施設についてのPR活動も積極的に実施している。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 観光施設が気持ちよく安全に使えるということは観光地として非常に重要なことであり、これらを的確に実施するうえで各事務事業構成には問題がない。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 公共的な施設の維持管理は、市が主体的に行うべきものであり、事業実施は妥当ではある。しかしながら、すべてを市が実施することが難しいことから、各事業のうち委託できる部分は民間に委託している。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 秩父地域の賑わいを創出するために各施設を維持管理し、また管理費に係る費用を精査し、老朽化した部分については改修を行う。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案	<p>基本事業として「観光施設整備事業」と「観光施設維持管理事業」に分かれているが、指標的には同じ方向性で事業を実施しているため、これを一本化して評価していくことで、より分かりやすい評価につながる。(平成25年度から実施する。)</p> <p>無事故で安心・安全に楽しんでもらえるよう、修理が必要な部分、老朽化した部分などは改修し施設の維持・管理業務を実施していく。維持管理費にかかる費用を精査して、常に検討し、安全管理に努める。</p> <p>日々の点検等を行い、事故なく安全に施設を利用できる環境づくりを行った。</p>
短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案	<p>従前行っている施設管理委託について、検証し、効率的な事業運営を目指す。また、各施設が老朽化していることから修繕計画をたて、計画的に行っていく。</p> <p>効率性について、常に検証して事業を展開する。</p> <p>浦山ダム振興センターに委託していた業務について、ちちぶ圏域外からの誘客促進を行う「ちちぶ観光機構」に委託し、更なる効率的な事業経営を図った。</p>
中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案	<p>公共施設ファンリティマネジメントの結果を注視し、施設の改修や民間への移管、廃止等を含め検討していく。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 多くの施設において老朽化が目立ってきており、計画性を持って順次改修していくことで、利用者が気持ちよく、安心して施設利用をしていただける。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	鈴木 日出男	電話番号 0494-25-5209
----------------------	--------	----------------------

基本事業コード	07030004	担当課所名	観光課
基本事業名 観光施設整備事業			
総合振興計画	基本柱(章)	4	にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」
	政策	1	人が集まる観光づくり
	施策	2	観光誘客の推進
			総合振興計画 106 ページ

基本事業の概要	観光施設の整備工事や観光トイレ等の設置工事を行い、観光地としての魅力アップを図る。また利用者が安全・快適に利用できる施設環境を維持する。
---------	--

対象	観光客、市民
意図 (対象をどのようにしたいか)	観光客や利用者が安全・快適に利用できるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
所管施設整備数		箇所	3	3	5	3	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	観光施設整備事業(本庁)	指標 整備施設数	1,024,925	988,532	50,000	1	C	○
						2	拡大 拡充	
02	観光施設整備事業(吉田)	指標 案内看板設置数	0	2,487,450	0	1	B	
						1	縮小 維持	
03	★ 観光施設整備事業(大滝)	指標 整備施設数	7,620,000	8,804,200	24,161,000	2	C	◎
						2	拡大 拡充	
04	観光トイレ設置事業	指標 相原橋観光トイレ利用者数	7,334,850	997,500	0	5,000	D	
						5,000	完了 完了	
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		17,807,000	8,931,000
事業費の合計(円) (A)		15,979,775	13,277,682
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他特定		
	一般財源	15,979,775	13,277,682
正規職員	業務量	0.40人	0.40人
	人件費(B)	2,376,902	2,408,200
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		18,356,677	15,685,882

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	観光客にわかりやすい表示や、安心で快適な観光施設づくりを目指した施設整備を計画的に行っており、整備施設数等を事業指標とすることは妥当である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 観光施設の改修、修繕は必要不可欠であり、各事務事業で最低限の整備を実施している。財政的に維持管理費も考慮した中で魅力ある観光地として必要な施設整備事業を実施していることから、構成事務事業は妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 観光客はもとより、観光関連団体や事業者、地域住民等からの意見を踏まえた上で、市が主体的に事業を実施しているため、妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 次年度以降、特に「まつり会館の大規模改修」をメインとした観光施設整備を行い、誘客促進を図るとともに、地域住民が活用できるような場所づくりを実施していく。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>基本事業として「観光施設整備事業」と「観光施設維持管理事業」に分かれているが、指標的には同じ方向性で事業を実施しているため、これを一本化して評価していくことで、より分かりやすい評価につながる。(平成25年度から実施する。)</p> <p>観光施設は、老朽化している建物もあるが、職員による日常点検で、修繕箇所の未然防止や修繕箇所の拡大を防ぐ。</p> <p>清掃時の点検や施設管理委託先、施設貸出事業者等に対し、日々の点検実施を周知し、できる限り修繕箇所の拡大防止に努めた。</p>
短期的(1～2年以内)に実施可能な改善提案	<p>魅力ある観光施設整備を行い、観光客の誘致を図るとともに、地域住民に愛される施設づくりを実施していく。現在課題となっている「道の駅ちぢぶトイレ改修」「まつり会館空調工事」を実施し、来訪者により快適に利用していただくための施設づくりを実施する。</p> <p>観光施設を整備して、より多くの人が訪れ、地域住民に利用してもらえるような場所づくりを実施していく。</p> <p>トイレ改修や空調整備等、喫緊に必要とされる改修事業を予算化して、整備体制づくりを図った。</p>
中長期的(概ね3～5年)に実施可能な改善提案	<p>特に秩父まつり会館について、平成26年から3年間計画で大規模改修を実施し、「本物を体験できる魅力ある会館づくり」を目指す。</p> <p>観光客、地域住民の声を参考に、ニーズにあった施設整備を推進していく。</p> <p>まつり会館改修検討委員会を組織し、改修計画づくりに着手した。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
魅力ある観光施設整備を行うことにより、観光客はもとより、住民が地域外に自慢できるような施設となり、更なる住民の施設活用(知り合いを連れて来館する等)が図られ、誘客促進につながる。 また、観光トイレ整備は観光客の利用を主目的としているが、隣接する公園等を利用する住民が利用を禁止しているわけではないため、近隣住民の利便性の向上につながる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	鈴木 日出男	電話番号 0494-25-5209
----------------------	--------	----------------------

基本事業コード	07030005	担当課所名	観光課
基本事業名	観光情報発信事業		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	4	にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」
	政策	1	人が集まる観光づくり
	施策	2	観光誘客の推進
			総合振興計画 106 ページ

基本事業の概要	観光施設やまつり、イベントなどの情報を提供する。
---------	--------------------------

対象	観光客、市民
意図 (対象をどのようにしたいか)	適切な観光情報提供を行い、観光地としての魅力を高め、安心して観光を楽しめるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
観光ナビアクセス件数	アクセスカウンター	件	675,540	676,000	676,870	677,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	観光情報発信事業	指標	ロケーション撮影実績		40	件	A	
				285,639	742,990	677,000	38	維持 維持
02	★ 秩父魅力発信事業	指標	観光情報館案内件数		120,000	件	B	◎
				9,000,000	9,000,000	9,000,000	175,108	維持 拡充
03	観光ホームページ作成・管理運営事業	指標	ブログ「観光担当のひとりごと」アクセス件数		200,000	件	C	○
				808,500	834,750	1,300,000	173,755	拡大 拡充
04	観光パンフレット印刷事業	指標	パンフレット発送問合わせ件数		450	件	A	
				2,249,275	3,055,110	3,150,000	507	維持 維持
05	観光案内事業	指標	宿泊案内件数		2,230	件	A	
				1,449,784	1,447,499	1,414,000	2,178	維持 維持
06	観光情報案内緊急雇用創出事業	指標	観光情報館利用件数		110,000	件	D	
				0	7,209,440	0	166,524	完了 完了
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14	23年度終了事業	指標						
				7,177,940				

(参考) 最終予算額(円)		21,037,000	22,443,000	
事業費の合計(円) (A)		20,971,138	22,289,789	15,541,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	20,971,138	22,289,789	15,541,000
正規職員	業務量	1.50人	1.20人	
	人件費(B)	8,913,384	7,224,601	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		29,884,522	29,514,390	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	観光情報発信については、マスコミへの情報提供や、キャンペーン、旅行者への営業活動、観光パンフレット作成、案内看板作成など種々の方法で事業を行っているが、HPでの情報発信は非常に有効な手法であるため、「観光ナビアクセス件数」を指標とすることは妥当である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 観光情報発信や観光案内、PRなどを民間や観光協会と協働し、進めているため、妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 観光産業は地域に大きな経済効果があるため行政の関与は必要である。観光協会をはじめ関係機関と協働して観光客誘致を図り、地域の活性化を図っていく。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 観光客に対して様々なニーズに対応できるよう、秩父観光情報館では観光案内、宿泊案内などを行っている。更なる観光客の利便性及び満足度の向上を図るよう、業務を向上させ観光客に満足してもらうように努めていく。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	フェイスブックなど情報発信する媒体の積極的な活用を図るとともに引き続き、おもてなしの心を持って観光案内、PRに努める。	引き続き、職員はもとより、関連団体など、おもてなしの心をもって観光案内、PRを実施する。 イベント開催前におもてなし講座を関連団体とともに実施する。
短期的(1～2年以内)に実施可能な改善提案	ギャップ調査等により観光客のニーズを把握し、秩父地域で楽しめる多様な情報を広く発信していくことで観光客の誘致を促進する。	秩父への観光PRのひとつであるロケーション誘致においても推進する。 アニメ「あの花」の聖地巡礼を推進する。
中長期的(概ね3～5年)に実施可能な改善提案	着地型の旅行、観光提案などを充実させ、観光客の多様なニーズに合致する情報発信を行う。	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 観光客の多様なニーズに呼応する情報を発信し、秩父の魅力を伝えることにより、地域住民があらためて地域を見なおすきっかけをつくることできる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	鈴木 日出男	電話番号 0494-25-5209
----------------------	--------	----------------------

基本事業コード	07030006	担当課所名	観光課
基本事業名	観光振興団体事務費		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	4	にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」
	政策	1	人が集まる観光づくり
	施策	2	観光誘客の推進
			総合振興計画 106 ページ

基本事業の概要	観光振興団体に負担金・補助金を支払い、活動を支援する。
---------	-----------------------------

対象	観光振興団体
意図 (対象をどのようにしたいか)	各観光振興団体と連携強化を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
連携観光振興団体数		団体	9	10	10	10	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	観光振興団体事務費	指標 負担金等交付観光振興団体数	10	10	10	団体	A	
		19,400	57,809,340	65,000	10		維持	維持
02	ニューツーリズム事業	指標 ふるさと秩父カード販売数	200	200	35	枚	A	
		386,980	172,962	249,000	35		維持	維持
03	公共交通による誘客事業	指標 バス利用者数	25,000	25,000	34,469	人	A	
		2,603,000	606,000	3,000,000	34,469		維持	維持
04	秩父ミュージアムパーク連絡会議負担金	指標 ミュージアムパーク利用者	1,407,000	1,407,000	1,758,979	人	A	
		200,000	200,000	200,000	1,758,979		維持	維持
05	埼玉県物産観光協会負担金	指標 無料観光情報誌「ちよこたび」設置箇所	5	5	5	箇所	A	
		192,000	192,000	192,000	5		維持	維持
06	外客誘致推進事業	指標 モニターツアー数	3	3	2	回	A	
		100,000	100,000	80,000	2		維持	維持
07	彩の国秩父地域観光協議会負担金	指標 主催キャンペーン回数	2	2	2	回	A	
		370,000	370,000	370,000	2		維持	維持
08	秩父観光文化施設連絡協議会補助金	指標 秩父まつり会館入館数	54,000	54,000	52,454	人	A	
		180,000	180,000	180,000	52,454		維持	維持
09	秩父菊花愛好会補助金	指標 菊花展開催日数	15	15	15	日	A	
		30,000	30,000	30,000	15		維持	維持
10	秩父山岳連盟補助金	指標 登山支援回数	24	24	35	件	A	
		30,000	30,000	30,000	35		維持	維持
11	ジオパーク推進事業(定住)	指標 ジオツアー(協議会主催)参加者数	400	400	417	人	B	○
		5,800,000	4,259,000	4,250,000	417		維持	拡充
12	観光連携推進事業(定住)	指標 ツアー参加者数	800	800	355	人	B	◎
		0	42,846,801	37,259,000	355		縮小	拡充
13		指標						
14	23年度終了事業	指標						
		7,304,096						

(参考) 最終予算額(円)	19,370,000	114,235,000	
事業費の合計(円) (A)	17,215,476	106,796,103	45,905,000
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他特定	1,704,000	
	一般財源	15,511,476	106,796,103
			45,905,000
正規職員	業務量	2.10人	2.80人
	人件費(B)	12,478,737	16,857,402
臨時職員 (事業費に含む)	業務量		
	人件費		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)	29,694,213	123,653,505	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	すべての観光振興事業を行政で実施することは困難である。そこで地域の各観光団体と協力し、観光振興をいろいろな方面から盛り上げていくことは重要であり、連携観光団体数を指標とすることは妥当である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 各団体の事業遂行にあたり、観光振興に寄与する団体に補助・負担している。自治体や観光関係団体と連携しての誘客推進のため、観光団体と連携し、事業を実施していくことは有効である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 観光行政の推進に必要なと思われる団体との連携を目的としており、市が主体となることは妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 ちちぶ定住自立圏構想の観光連携で取り組んでいる、「秩父地域おもてなし観光公社」と「秩父まるごとジオパーク推進協議会」がある。この観光連携事業は観光誘客の利便性の向上や効率よい誘客を行い、秩父地域をひとつにまとめようと取り組んでいる事業であることから重点化する。</p>	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
<p>予算を伴わず 早急に実施可能な 改善提案</p>	<p>申請から実施報告までの過程において、書類審査、調査などを実施し、適正な交付に努める。また、観光振興団体も増えているため、業務の重複等を防ぐよう、引き続きヒアリングなども行っていく。</p> <p>引続き、申請から実施報告までの過程において、書類審査、調査などを実施し、適正な交付に努める。</p> <p>団体にヒアリング調査等を実施した。</p>
<p>短期的 (1～2年以内)に 実施可能な 改善提案</p>	
<p>中長期的 (概ね3～5年)に 実施可能な 改善提案</p>	
<p>改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 観光振興団体業務の重複がさげられ、効果的な資金投入をすることにより、観光振興が図られ、地域産業の活性化につながるとともに、新たな雇用創出が期待される。</p>	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	鈴木 日出男	電話番号 0494-25-5209
----------------------	--------	----------------------